



第66号 (平成28年12月発行)
東海ノア協定事務局
(原子力機構・原子力科学研究所内)
Telephone : 029-282-5801
E-mail : t-noah@jaea.go.jp

東海ノア通信 第66号 をお届けします。

東海ノアでは、今年度も加盟事業所の皆様方との相互協力をもとに、積極的に協力活動を進めていきたいと考えています。東海ノア通信では、こうした日頃の協力活動をより解り易く皆さまに紹介しています。

なお、東海ノア協定に基づく活動状況は、ホームページでも紹介しています。

アドレスは、<http://tnoah.jaea.go.jp/> です。

〔トピックス〕

☆活動状況

- 安全協力委員会の開催状況
- 活動推進幹事会の開催状況
- 自主保安に関する点検協力活動
- 安全教育に係る協力活動
- 情報等の交換に関する協力活動

☆加盟事業所からの事業所紹介

☆今後の主な活動予定

東海 NOAH :

「東海」東海村、「N」那珂市、「O」大洗町、「A」旭村 (現銚田市)、「H」ひたちなか市

☆活動状況

安全協力委員会の開催状況

○第35回安全協力委員会

- ・開催日：平成28年10月20日（木）
- ・開催場所：原子力機構 原子力科学研究所
- ・議題：（1）第34回安全協力委員会議事録について
（2）平成28年度上期活動状況及び下期の活動計画について
（3）協定加盟事業所の近況について

第35回安全協力委員会では、議題（2）により平成28年度年間活動基本方針に基づく上期活動結果の報告及び下期活動計画について審議がなされ、計画通り実施することで、提案通り承認されました。

また、議題（3）により協定加盟事業所の近況について、各事業所より報告されました。



第35回安全協力委員会

活動推進幹事会の開催状況

○第77回活動推進幹事会

- ・開催日：平成28年12月14日（水）
- ・開催場所：原子力機構 原子力科学研究所
- ・議題：（1）第76回活動推進幹事会議事録について
（2）平成28年度 自主保安に係る点検協力活動について
（3）平成28年度 安全教育に係る活動について

- (4) 平成28年度 情報等の交換に係る協力活動について
- (5) 東海ノア通信第66号の発行について
- (6) その他

第77回活動推進幹事会では、議題(1)から(5)までの報告が行われ、東海ノア通信第66号を発行することが承認されました。

また、その他として、東海ノア協定協力業務の合理化検討状況等について報告が行われました。



第77回活動推進幹事会

自主保安に関する協力活動

協定に加盟している事業所を対象に、核燃料物質使用施設、放射性物質取扱施設等の安全担当実務者及び防火管理の担当実務者等からなる専門家を派遣し、安全管理について様々な観点から確認、意見交換を行い、安全管理の向上に役立てるための活動を行っております。

○平成28年度 第2回自主保安点検協力活動

今年度第2回目となる本活動は、茨城県内でも初雪を観測した平成28年11月24日(木)、「積水メディカル株式会社 創薬支援事業部創薬支援センター」を対象として実施されました。

点検協力実施者は、東京大学大学院 工学系研究科原子力専攻、量子科学研究開発機構 那珂核融合研究所、住友金属鉱産株式会社 経営企画グループ事業管理室技術センターからの3名で実施しました。

点検活動は、現場巡視確認及び点検シートに基づいた質疑・応答形式で進められ、質疑・応答の中では、(1) 安全管理基本方針、(2) 安全管理計画、(3) 事業所規則等、(4) 教育訓練、(5) 緊急時体制、(6) 緊急事態の想定等、自主保安活動として取組んでいることについて、説明および質疑応答形式による意見交換を行い、考え方や取組み状況等について確認しました。



自主保安に係る協力活動を行う関係者
左側；点検協力実施者
右側；事業所の対応者

安全教育に係る協力活動

○安全教育研修会の開催

平成 28 年 10 月 4 日（火）、東海ノア協定に基づく平成 28 年度第 1 回安全教育研修が、日本原子力研究開発機構 原子力人材育成センターを会場に、協定加盟 10 事業所から 28 名が参加し、開催されました。

研修は、前半に講義研修を行い、後半に各種放射線測定等の実習が行われました。

研修後に実施したアンケートでは、三次元核図表について「専門的過ぎる」との意見もありましたが、「ブロックや星を用いた解説で、理解を深める事ができた」と説明時の工夫についての意見もありました。また、測定実習は、「実際に測定する機会が殆どないことから有意義であった」との感想もありました。

今回の研修を総括すると、受講者から講義、実習とも大方の好感想をいただき、満足いただけた研修でありました。

〔研修会概要〕

- 【講義①】 放射性物質のいろいろな性質
- 【講義②】 三次元核図表
- 【講義③】 放射線防護の基礎
- 【実 習】 各種放射線測定

【研修風景】

【講義の様子】



【実習の様子】



○メンタルヘルスセミナーの開催

日本原子力研究開発機構 大洗研究開発センターにおける全国労働安全衛生週間において、平成28年10月5日（水）、産業カウンセラーの大野萌子氏を迎えメンタルヘルスセミナーが、同センター安全情報交流棟の研修ホールにおいて開催されました。

セミナーには 109 名の方々が参加され、東海ノア協定加盟事業所からも 1 名の方が参加されました。

セミナーでは、かけがえのない自分自身を大切に、自分と向き合い、自分を知って、自分の気持ちを大切に。自分を大切にすることは、周りの人を大切にすることに繋がる。セルフケアの方法を持って、ストレス抵抗力を高める習慣を心がけることで、心身ともに健全な状況を作り出すことが可能になる。メンタルタフネスを身につけ、生き活きとした職業生活を行う一助となりますようにと、締めくくられました。

【セミナーの様子】



○防火・防災講演会の開催

日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所の大講堂において、平成28年10月12日（水）、防災システム研究所所長の山村武彦氏を講師に迎え、「防災意識の醸成 災害に備えた取り組み、危機管理等」と題する防火・防災講演会が開催されました。

講演会は256名の方々が聴講され、東海ノア協定加盟の7事業所からも8名が参加されました。

講演では、各自治体、事業所で行われている防災訓練（消火訓練、避難訓練、安否確認訓練等）について、災害が発生した後の対処訓練であり、命を守ることを優先する「スマート防災」の観点からすると、大切な訓練が抜けている。「消火訓練の前に、火を出さない訓練」、「避難訓練の前に、災害から自分の命を守る訓練」といった災害を予防する訓練の視点を持つことが大切であり、普段から、家庭と職場に安全ゾーン（転倒落下物の少ない、閉じ込められない場所）を確保し、「カタカタと窓や戸が揺れたら」、「地震の小さな揺れを感じたら」、「緊急地震速報を聞いたら」ただちに安全ゾーンへ移動、その場に合せた命を守る退避行動をとることが大切であると、締めくくられました。

〔講演会の様子〕



情報等の交換に関する協力活動

○事故、トラブル情報等の交換

原子力事業所安全協力協定に基づき、協定加盟事業所の事故・トラブル情報について、プレス発表されたものは有りませんでした。

○緊急時を想定した訓練等の見学会

緊急被ばく医療処置訓練見学会の開催

東海ノア協定に基づく「情報等の交換に係る協力活動」の一環として、平成28年11月22日に、茨城県主催の「緊急被ばく医療関連情報連絡会」が開催する緊急被ばく医療処置訓練見学会に同行する形で、東北大学附属金属材料研究所 附属量子エネルギー材料科学国際研究センター及び大洗海岸病院での医療処置訓練見学会が開催されました。

東海ノアからは、原子力事業所による応急処置訓練（於：東北大学附属金属材料研究所）及び医療機関による医療措置訓練（大洗海岸病院）に6事業所から18名が参加されました。

なお、早朝に発生しました福島県沖地震による津波注意報（大洗港で50cmの津波を観測）により、予定されていた大洗消防本部による搬送訓練が取りやめになりました。

訓練の様子



東北大学附属金属材料研究所での訓練



大洗海岸病院の訓練

☆協定加盟事業所からの事業所紹介

東海ノア通信では、協力協定加盟事業所間の相互理解を図ることを目的に、安全活動への取組状況等について各事業所からの紹介記事を掲載しています。

今号では、「ニュークリア・デベロップメント株式会社」からの紹介です。

—∞—∞—∞—∞—∞—∞—∞—∞—∞—∞—∞—∞—∞—∞—∞—∞—∞—∞—

『当社の安全への取組み状況について』

ニュークリア・デベロップメント（株）（略称 NDC）

当社は三菱重工業（株）高砂研究所東海試験場と三菱原子力工業（株）原子力開発センター東海研究所の業務を引き継いで 1990（平成 2）年 4 月に設立されました。2001（平成 13）年 5 月には埼玉県さいたま市に残っていた業務の大部分を東海村に移管し、原子力発電所及び原子力関連施設で使用される原子燃料、原子炉構成材料について、また、原子力化学、放射線計測、原子燃料サイクル、放射化学分析、廃炉・廃棄物処理処分等に関して、安全性・信頼性及び性能の向上を目指した各種試験並びに実証研究を行っています。

東海ノア通信第 5 号で当社の安全活動状況、第 25 号で環境活動（エコアクション 21）及び危険予知活動（KYK）、第 44 号で東日本大震災後の安全維持・安全文化醸成活動について紹介させていただきました。本号では、2015（平成 27）年暮れに発生しました火災事故を受けての安全への取組み状況についてご紹介します。

1. 火災事故の概要

2015（平成 27）年 12 月 17 日、当社発足以来初めてとなる火災事故が発生しました。発災機器は高圧盤の一種のコンデンサ盤と呼ばれるもので、中にあるコンタクトが焼損しました。幸い非管理区域であったこともあり、自衛消防隊が迅速に消火し大事には至りませんでした。停電が発生し非常用発電機が作動したため、当日中の商用電源復旧作業と関係先への通報連絡及び県庁記者クラブでのプレス発表等に追われる一日となりました。



焼損部写真

2. 事故後の対応

事故直後の12月21日に社安全対策会議を開催し、事故状況を確認すると共に、今後の措置に関するスケジュールを取り纏め、下記(1)、(2)を開始し、2016(平成28)年10月までに対応を完了しました。

(1) 経年品の交換(特に、発災品と同等品は迅速に交換)

(2) 異常検知と対応能力の向上(巡視方法・点検項目の見直し、新たな点検方法の採用(サーモカメラ・サーモラベル)、管理体制強化、緊急時対応の改善)

また、これまでも安全を確保するための活動を行ってきましたが、火災事故を受けて一層の安全意識の向上が重要と考え、保安品質保証活動、工物品証活動の活動項目の筆頭に「安全文化醸成」を掲げ、原子力安全推進協会(JANSI) 殿が実施する安全文化アンケートやe-learningの積極活用に取り組んでいます。

2015(平成27)年に実施した第5回の安全文化アンケートは、組織の安全姿勢、安全の職場内啓発等、8項目に関連した80の質問で構成され、JANSIに加盟している原子力関係事業所で働く2万名余が参加しました。JANSIと原子力安全システム研究所が統計分析した結果、全体としては東電福島事故後向上していた安全意識が今回やや低減しておりますが、当社は依然として安全意識が向上しており、全体の中でも良好な位置にあることが判りました。アンケート結果について、社内でも独自に分析を進めることを計画しております。

また、社員一人ひとりが自席パソコンで実施できるJANSIが提供するe-learningも昨年度に引き続いて実施する計画です。

このようにハード、ソフト両面における安全確保の活動を今後も継続する所存ですが、当社のユニークな活動を一つご紹介します。

それは毎朝の体操の後に行われる朝礼時の挨拶です。月初めには協力会社員を含む全社員約 100 名がラジオ体操をした後に、幹部から全社員に向けて安全・衛生・環境維持等に関わる重要事項について講話を実施します。週初めの全身体操後には、部門持ち回りで、部門代表者が安全等に関わるスピーチを行います。先日は東海村役場が無償で提供している災害備品・避難方法・ハザードマップ資料が紹介されました。そして、全身体操の日以外も試験部・安全管理室が体操を行った後、所属員全員が順番で挨拶を行うことにしています。そこで行われるスピーチは実に多彩で、交通事故一步手前の状況に遭遇したこと、禁煙宣言（とその後）、趣味のマラソン・登山・温泉めぐり等の奨め、茨城近郊の催しの紹介、ノーベル賞受賞の技術的紹介、等々。この朝礼挨拶は、聞いている人に必ず何らかの刺激を与え、社内のコミュニケーションの活性化に役立っています。今後とも社として継続していく所存です。



朝礼時の社長講話の風景

☆今後の主な活動予定

- ・原子力事業所見学会（那珂研）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 平成29年1月
- ・平成28年度総合防災訓練見学会（大洗研）・・・・・・・・・・ 平成29年1月
- ・平成28年度第2回安全教育研修・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 平成29年2月
- ・第78回活動推進幹事会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 平成29年3月
- ・第36回安全協力委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 平成29年3月

〔編集後記〕

東海ノアの活動につきましては、日頃より加盟事業所皆様のご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

いよいよ平成28年も終わりの月に入りました。

今年の冬も、各地でイルミネーションが色鮮やかに輝く季節がやってきました！

東海駅西口では、12月3日（土）から2月18日（土）まで、17時から24時まで見ることが出来ます。また、佐和駅前、勝田駅前、那珂湊駅前でも1月9日（月）まで、色鮮やかなイルミネーションを見ることが出来ますので、ご家族等でハシゴしてみたいはいかがでしょうか。

今年もいろいろありましたが、無事に終わりますことと、来年は皆様にとって良き年となりますことを願っております。

また、来年もよろしくお願い致します。

上：東海駅西口
下：佐和駅前
(12.5撮影)



東海ノア通信の目的である「情報の交換・共有」を行いながら、皆様の参考となるよう更に充実図っていきたいと考えています。事務局へのご要望等がございましたら、忌憚のないご意見をお寄せください。

